

平成 19 年度第 8 回(通算第 41 回)「市民の皆さんとランチで対話」概要

団 体 名	二ツ井町仁鮎地区自治会
開 催 日 時	平成 1 9 年 1 1 月 2 7 日 ( 火 ) 午前 11 時 45 分 ~ 午後 0 時 45 分
開 催 場 所	二ツ井町庁舎 庁議室
出 席 者	仁鮎地区自治会 7 人 ( 能代市 : 市長、二ツ井地域局長、地域局建設課長、地域情報課長 )
案 件	平成 19 年 9 月水害を受けて 他
会議の概要 ( 主な発言 )	<p>( ...仁鮎自治会の皆さん ...市長 ...地域局長・建設課長 )</p> <p><b>平成19年 9 月水害を受けて 堤防の築堤について 2 水門への揚水排水ポンプの設置について</b></p> <p>今回の水害では、内水(猿田沢川・田ノ沢川)の増水に気付くのが遅れた。現状は両川の合流地点で堤防が切れており、堤防延長で解消されるのでは。また中台地区は低地で、水門の閉鎖により水の逃げ場がなく、浸水被害が拡大した。ポンプ設置で解消されると考えての要望。</p> <p>ポンプは有効だが、堤防の計画高水位を超えた時点で撤去せざるを得ない。中台地区はポンプ設置が有効だが、最も効果的な対策を考える必要がある。上流に土地等がある川は、増水時、一時的に堰堤等で遊水池・貯水池を設け計画的に排水する検討も必要。</p> <p>要望 の堤防設置は、低位にある県道高屋敷茶屋下線の嵩上げが必要。現在国県では、本川の河道掘削で河積を確保し、本川の容量を上げる計画。結果、全体に水位が下がり、ポンプ排水も有効になる。猿田沢川・田ノ沢川は、堤防設置や盛り土対策が必要だが、県道の嵩上げにより沿道の住宅移転なども必要。実施の際には住民の協力も不可欠。両川については、上流対策も含め検討したい。</p> <p>要望 のポンプ設置は、排水効果が期待できるので、協議し検討したい。国では、緊急災害対策費として能代管内に約 15 億円超、今後 4 年間では計 100 億円近くの投資を予定。堤防の嵩上げ・河道掘削等での排出土砂等を築堤に利用するなど、総合的な計画を河川国道事務所と協議中。仁鮎地区を災害対策モデル地区と位置づけたいので、協力願いたい。</p> <p>河川国道事務所二ツ井出張所に可動式ポンプ(能力 0.5 トン/s)の配置があり、今後の災害では、仁鮎地区を最優先して稼働を考えたいとのこと。東北管区では計 16 台の可動式ポンプがあり、必要に応じて出動させる体制とのこと。</p> <p>国県では、今回の災害の根本原因・因果関係を分析・究明して今後の対応策を検討していくとの見解。</p>

国への陳情で、実態を理解し想定以上の予算配分となった。全国のモデルケースになるような対策を講じたい。

地元として必要な点は協力したいと考えているので対策方よろしくお願いたい。